

ところもあります。ただ、基礎的な学力の代わりに態度があるからいいだろうというわけにはいかない。やっぱり基礎的な学力だったらそこはちゃんと数字として見ていく必要があるかと思えます。それについてはまた機会があれば教育長のお考えをお聞かせいただきたいと思います。

以上で質問を終わります。

## 鈴木富美子議員の質問

○浅野敏明議長 次に、順位2番、議席番号10番、鈴木富美子議員。

(10番鈴木富美子議員登壇)

○10番 鈴木富美子議員 おはようございます。夏の終わりを告げるように日中はセミが必死で鳴き、夜になると秋だよと言わんばかりにいろんな虫の音が聞こえる今日この頃です。秋の果物も多く出回るようになり、天高く馬肥ゆる秋、秋らしい爽やかさを感じる季節となりました。

しかし、8月の豪雨災害は、置賜地区に大きな被害をもたらし、いまだに先が見えない方も多くいらっしゃいます。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げ、一日も早く日常生活に戻ることをお祈りいたします。また、多くのボランティアの皆様には深く感謝を申し上げます。

今後、国や県のお力添えをいただき、一日も早い復興に期待したいと思います。

9月定例会は、リノベーションされたタスのさらなる活性化と今後の長井ダム観光、そしてパークゴルフ場のトイレについての3項目の質問をさせていただきます。

1項目めは、タスビルのさらなる活性化に向けての質問をいたします。

タスビルは、昭和62年7月に竣工し、それか

ら35年が経過しました。老朽化が進み、交流の拠点としての役割など本来の機能を発揮できないなど、大きな課題となっていました。

令和3年12月議会において、タスビルを存続させるためにホテル事業を行ってきたタスパークホテルの資金について、長井商工会議所の3,000万円を1,000万円に減資し、地場産業振興センターと長井市が出資をし、1,000万円ずつ三者で持ち、役割分担をし、共同の責任でやっていくとの市長からの提案がありました。この件について議会において議論がなされ、さらに市長からは、タスと本市との関わり方については、市民の皆様の福祉向上に資する施設にすべきということから、市で所有することが適正ではないかという判断をしたとの説明もなされました。

この間、国の地方創生拠点整備交付金を活用し、1階から3階までの一部改修工事が行われました。総事業費は4億8,807万円、昨年4月にプロポーザル公告公募、6月に審査会を開催し、その後、工事契約を締結、今年3月15日までの契約で事業を実施、4月にリニューアルオープンをいたしました。しかしながら、ホテル・旅館経営は、新型コロナウイルス感染症の影響による飲食、施設利用の減少という状況は変わっておりません。

そういう状況を踏まえて幾つかの質問をいたします。

初めに、商工振興課長にお聞きいたします。タスがリニューアルオープンしてお客様の流れが今までと変わったところなど、特徴的なところはありますか。

私は先日、コワーキングスペースを利用させていただきました。とても静かで環境もよく、落ち着いた雰囲気を利用して感じてまいりました。4月にオープンしてから、コワーキングスペースやワーケーションルームを利用されたお客様の人数や利用されたお客様の地域、

利用した感想など、アンケートの結果などあれば教えてください。あわせて、利用料金についてもご意見や感想などがあるのか、教えてください。

次に、産業参事にお聞きいたします。コワーキングスペースやワーケーションルームの利用の促進についてお聞きいたします。

県内にも多くの同様の施設がありますが、コワーキングスペース、ワーケーションルームを利用してもらうには、タスの特徴を強く印象づける仕掛けも必要かと思われませんが、どんなところがタスの特徴であり、外に対して打ち出せる魅力だと感じておられますか。

また、市内の施設とどのように差別化するのか、例えば特徴を生かして利用してもらう方法などは考えておられるのでしょうか。

あわせて、ほかの施設と連携するなどする必要があるのか、検討などの予定はあるのかもお聞きいたします。

続きまして、市長には5つの質問と提案をさせていただきます。

1つ目は、ウィズコロナというもののタスでの大会、イベントなどいまだになかなか難しいようです。タスを利用する宿泊者にコワーキングスペースやワーケーションルームの利用サービスを提供するなど、ほかのサービスとの抱き合わせなども考えてはどうでしょうか。市長のお考えがあればお聞かせください。

2つ目は、やまがたアルカディア観光局の旅行商品に組み込むことは考えておられるのでしょうか。当初の構想にあったと思いますが、営業の方針、計画などがあつたら教えていただきたいと思います。

3つ目は、市民がタスにより親しみを持ち、楽しんでもらうよう、もっと多くの市民が使いやすいとするバリエーションが必要なのではないでしょうか。ホテルは営業により利益を確保するのは必然ですが、市民が一番のお客様と考え

る必要もあるのではないかと思います。例えば多くの女性に足を運んでいただくような仕掛けとして、5階の五山草蘆の懐石料理を気軽に楽しむことも含め、タス全体で手軽な料金、参加料で楽しんでもらえる自主イベントなどの開催も必要かと思いますが、お考えがあつたらお聞かせください。

4つ目は、リノベーションしたタスがスマートシティの推進を担うのであれば、市民がタスを利用することでデジタル化に対する抵抗感を和らげることも考えていくべきではないでしょうか。多くの市民に魅力ある使いやすい機能の整備が必要だと思います。私もあまりデジタル化についていけないほうですが、コワーキングスペースを利用するときに、会員になると便利ですと言われ、説明をお聞きしながら、スマートフォンからコードを読んで登録させていただきました。簡単そうですが、使い慣れてない私にとって大変な作業だったことは事実です。

そうしたことを丁寧に楽しく解決できるように、コワーキングスペースを活用してデジタル対応の講習会などのサービスを提供していくことで、タスに足を運んでいただけるのではないのでしょうか。市長はどのようにお考えでしょうか。

最後の5つ目は、eスポーツスタジオNestについてお聞きいたします。

長井市はNestから若い市民や国内外に情報を発信し、コミュニケーションを取り、国際性やデジタル力を高めていくことを期待するものと思います。

しかし、Nestは、高齢者には異次元の空間にも思えます。壮年層、高齢者でもチームや団体で楽しめるゲームやマシンなどもあればいいと思いますが、いかがでしょうか。

現在、パークゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンクなど、外でのスポーツを多くの高齢者が愛好しているわけですが、膝が痛い、歩けない

などお悩みをお持ちの方も数多くいらっしゃる中で、eスポーツを推進し、少しでも体を動かすことや脳の活性化を促進することで健康寿命につながることを期待したいと思います。市長のお考えをお聞きいたします。

第2項目は、長井ダム観光についてお聞きいたします。

9月1日の山形新聞に、長井ダム湖観光について詳しく記事が載っていました。同じ内容の質問になるかと思いますが、確認する意味でも質問をさせていただきます。

長井ダム観光については、やまがたアルカディア観光局を通じて水陸両用バスの運行、SUP、水上自転車など、アウトドア観光に人気が集まりました。この実績について、観光交流担当課長にお聞きいたします。今シーズンは、延べ何人のお客様においでいただいたのか、また、市内、市外の人数も分かる範囲でお答えください。この期間、ボランティアガイド黒獅子の里案内人の案内した延べ人数もお聞かせください。

現在、長井市の一番の観光は長井ダム湖の観光ではないかと思います。8月3日の大雨による被害状況については産業参事にお聞きしたいと思います。

被害状況を確認した上でダム方面の道路の復旧のめどはあるのでしょうか。秋の紅葉に向けて、遊覧船の運行や三淵溪谷ボートツアーなど、ダム観光の予定があると思いますが、どのような観光に今後していくのか、市長の考えをお聞きいたします。

最後の第3項目は、長井市パークゴルフ場の仮設トイレについて、健康スポーツ課長にお聞きいたします。先日の大雨により河川敷に設置している仮設トイレが流されました。増水した時点でトイレの移動などの余裕はなかったのでしょうか。その被害状況とその後の対応についてお聞きいたします。

パークゴルフ場の利用は、令和元年延べ

7,700人、令和2年9,000人、令和3年1万700人と年々増加しております。今年も既に約5,000人の方が利用されました。平成26年6月議会にトイレの必要性を話させていただきましたが、地元住民から反対があり、予算執行がなされませんでした。今後もこのような雨があれば、同じことの繰り返しになるかと思えます。改めてトイレ建設を要望したいと思います。

ほかのパークゴルフ場は日帰り温泉や食事を取る施設があり、条件がそろっているところが多いわけですが、長井市のパークゴルフ場は、クラブハウス、トイレ、事務所も全て仮設です。それでも県外、市外からも多くのパークゴルフの愛好者が集まります。スポーツを通して集える場所の提供は大切だと思います。しっかりと地元住民と話をした上で、もう一度考えていただきたいと思えます。市長の考えをお聞かせください。

以上で壇上からの質問を終わります。ご答弁よろしくお願ひします。

○浅野敏明議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 鈴木富美子議員からは大きく3点で、私の答弁は合計で8点についていろいろご提言、ご質問いただいておりますので、お答えを申し上げます。

まず最初に、タスのさらなる活性化についてということで、私からはタスを利用する宿泊客に対し、コワーキングスペースやワーケーションの利用のサービス等を提供してはどうかというご提言でございます。

タスパークホテルについては、議員からもありましたように、シティホテルとして県内でも数少ない、恐らく室内のプールがあるのはタスだけだと思いますけれども、フィットネスとかプール施設、サウナ、お風呂など併設していること。また、和洋2つのレストランを有し、朝、昼、夕とホテルの料理を提供できること、そして、各種大小の宴会場を持っている宿泊施設で

すので、これらを複合的に生かした各種プランを提供できるように取り組んでいるところでございます。

また、コワーキングスペースとワーケーションにつきましては、現在、ホテル、そしてやまがたアルカディア観光局、置賜地域地場産業振興センターと市で週1回程度のミーティングを実施しまして、他地区のコワーキングとの連携や、ホテルと一帯となった利用などについて様々な検討をしているところでございます。

まずは、施設全体の知名度を上げるためにも、セミナー等を企画し、SNSで発信することで人が集まる仕組みをつくる必要があると考えております。

例えば「#長井コワーキング」と投稿した場合、特典として利用料金を1時間無料にするようなキャンペーン、またフォローした場合、1日無料にしていくような内容で現在準備をしております、利用者を通じてさらなる集客を図ってまいりたいと考えております。

タスに宿泊される方の大半は、ビジネスを目的としておりますので、議員からのご提案のとおり、宿泊者に対しコワーキングやワーケーションを利用できる商品プランや、会議室の利用につきましても、会議だけではなくランチをしながらの打合せができるよう、現在検討しているところでございます。

続きまして、2点目でございますが、やまがたアルカディア観光局の旅行商品にタスの宿泊も組み込んでどうかということでございます。

これは、まさに議員おっしゃるとおり、やまがたアルカディア観光局、2市3町でつくっている旅行会社でありますけれども、私ども長井市を中核として連携しながらいろんな旅行商品をつくっておりますので、企業、団体等の研修とかを併せたバケーションを楽しむということで、ワーケーションですね。仕事をしながら研修して、ついでに観光も楽しめるような、そう

いう企画。

また、これから、少し新型コロナウイルス感染症の状況もあるかとは思いますが、よくあるのは、より美しくなるための2週間の詰め込みの、例えば断食であったり、あるいはシェイプアップとか体質改善を図るような、そういった企画ですね。そういったことでのタスのプールとかフィットネス、また周りにフットパスとか散歩もできたり、さらには地元の大変優れた食文化を体験できるような、そして薬膳料理みたいなもの、そういったものなども開発しているようですから、そういったものを生かした商品をつくっていきたいと思っております。

既にタスパークホテルを利用する企画商品として、やまがたアルカディア観光局ではそういった具体的な商品を実施しております。昨年からはホテル総支配人とも相談しまして新たな企画を行っておりますので、若干改めて紹介させていただきますと、まずは1点目が、冬の熊野山早朝登山と雪灯り回廊まつりのランタンづくり体験や、熊野山夜明けトレックと併せた宿泊プランということで、これは地域おこし協力隊で地域創生隊員の大村さんと観光局、長井市の協賛によりまして、実績は3組ほどこの旅行の商品をやっております。6名が宿泊されたということです。あと、2点目は、置賜さくら回廊とフラワー長井線のランチプランということで、実績は59名。また、大手旅行代理店のタイアップのバスツアー企画での食事会などで28名などがございます。

また、観光局は、地域連携で広域の旅行商品を開発していますので、今後も連泊しながらアルカディア地域を楽しむ企画などを開発していく予定です。その際は連泊できる宿泊施設が必要となりますので、タスパークホテルを巻き込んだプラン造成を行ってまいりたいと思います。

なお、観光局では、都会で働く女性をターゲットとした「ライク・ア・バード o k i t a m

a」を現在ユーチューブ配信しております。2市3町の出演者全員を集めたシンポジウムをタスを会場に開催する計画もありますので、やまがたアルカディア観光局とタスパークホテルの相乗効果が図れる事業を継続して実施していきたいと考えております。よろしく今後ともご指導いただきたいと思います。

続きまして、3点目でございますが、タスが市民に親しみやすい施設になるように、懐石料理などを含め、気軽に楽しめるイベントの企画をしてはどうかと。

これは具体的に、5階にある茶室を利用して、そういう商品をつくって市民に利用してもらったらどうかというご提案でございますが、茶室利用につきましては、茶道の各流派の有志の先生方による五山会という、ホテルの茶室、5階にあります五山草廬を盛り上げるボランティアの会を結成していただきまして、長井市の会食を伴う打合せの際のおもてなしにご協力いただいております。

また、毎週火曜日の五山ランチでは、お茶のお点前と五山懐石をリーズナブルな料金で提供しており、多くの皆様にご利用いただいております。最近では、市内だけではなく置賜エリアの主婦の皆さんからも多くご利用いただいているような状況でございます。

また、茶室の利用料金については、山形市内のもみじ公園の中にある安価で利用できる茶室、宝紅庵を参考にしながら、市民の皆さんにもご利用いただきやすい価格帯に改定しております。

ホテルをより身近に体験していただくため、楽街楽座の企画にも参加しております。レストランでは首都圏ではやっているメニュー、例えば洋食では大人様ランチや、和食では仙台までに行かず食べられる山形産を使用したせり鍋をリーズナブルな価格で開発しまして、過去のイメージを払拭できるように頑張っております。

最近では、山形県内のワイナリーに光を当て、

地元のワイナリーとタイアップして、ワインとフレンチを楽しむ会を企画したり、ビアホールで各種ビールの飲み比べや山形初お目見えの微発泡性樽生ワインなど、新しい体験をしていただいております。

今後の検討課題としましては、市内の結婚式場が撤退していることから、若いカップルが気軽にご利用いただけるカジュアルな結婚パーティープランを発表し、仲のよいお友達や親族の皆さんに楽しんでいただけるような披露パーティーをご利用いただけるよう、準備を進めております。

今後は置賜エリアのすばらしいホテルを目指して、市民の皆様にご誇りを持っていただけるような運営を行っていきたく考えているところです。

続きまして、4点目でございます。タスがスマートシティ推進を担うのであれば、市民がタスを利用することでデジタル化に対する抵抗感を和らげることにつながるのではないかとというようなご提案でございます。

現在の新型コロナウイルス感染症の流行以来、テレワークやワーケーションのニーズが高まっており、特にIT関連の仕事はパソコンとネットワーク環境があれば場所を選ばずに作業ができるため、タスの再整備では、外部からこうしたデジタルに明るい人材を呼び込むことも目的の一つとしてワーケーションルームやコワーキングスペースを整備したところです。サテライトオフィスなども誘致したいという考えもあつて、その前段として行っているわけですが、一方で、スマートシティの推進に当たっては、市民の皆様にごデジタル技術について触れていただく機会の創出や理解促進に向けた取組が大変重要と考えております。

議員ご指摘のとおり、デジタル機器については、なじみのない方や操作に不慣れな方にとっては面倒で難しいものという印象が根強いこと

と思います。このため、スマートシティ長井実現事業では、主に高齢の方を対象としたデジタル機器操作教室や、気軽にデジタルに触れる機会として、高齢者向けeスポーツの実施を計画しています。

議員からご提案いただきました、タスを利用したデジタル対応講習会の開催は、スマートシティの推進に加え、市民の方に気軽にタスを利用していただくきっかけにもなり、非常に有効な試みかと思えます。参加人数や講習の内容に応じ、コワーキングスペースまたは今回新たに整備したタス2階のバンケットホール絨などで開催することも含め、現在計画している高齢者向けデジタル機器操作教室の会場にタスを活用することについて今後検討してまいりたいと考えております。

続きまして、5点目ですが、この項の最後でございますけれども、eスポーツスタジオN e - s t に高齢者等がチームや団体で楽しめるゲーム、マシンの導入をとということのご提言でございます。

eスポーツは、年齢、性別、国籍、障がい等の垣根を超えたダイバーシティ時代の新スポーツとして、企業や自治体などで急速に普及が進んでいます。長井市においても積極的に取り組んでおり、今年3月25日から27日に開催したeスポーツイベントには延べ389人、7月31日に開催したイベントには延べ146人にご参加いただき、盛り上がりを見せたところです。

タス1階に整備したながいeスポーツスタジオN e - s t は、気軽にデジタル技術に触れることができ、かつ成長産業として期待されるeスポーツの需要を取り込み、さらにはeスポーツに関連するビジネスの創出も視野に整備したスタジオです。高性能なゲーミングパソコンを整備しており、既にeスポーツを楽しんでいる人はもちろん、常駐するスタッフが操作方法を教える体制を整えており、初めての方や高齢

の方にもご利用いただける環境になっています。

eスポーツは健康寿命延伸などの効果も期待されることから、本市においても高齢者向けの取組を積極的に進めたいと考えており、昨年度は慈光園のデイサービス利用者にレクリエーションの一環で、リズムゲーム「太鼓の達人」、車のレースゲーム「グランツーリスモ」も体験いただきました。今年度は各地区ミニデイサービス等、高齢者コミュニティにも対象を広げ、高齢者の楽しみの一つとしてeスポーツを普及すべく調整を進めているところです。

N e - s t は高齢の方が気軽に足を運んでゲームを楽しむ場というよりも、一定の技術を持つ方の講習場所という想定で運用されている側面もありますので、ご高齢の方も気軽に利用できるゲーム機やゲームタイトルの導入については、今後のタスの整備計画において検討し、子供から高齢者まで気軽に利用できる施設となるよう、取組を進めてまいりたいと考えます。

なお、タスの再整備については、まだ第1段階、本来はこれからが本番でありまして、地場産センターの一部を今回リノベーションしたわけですが、もともと2階にはインキュベーション施設もありますし、したがって、コワーキングスペース、ワーケーションルーム、またサテライトオフィスなどを意識した、そういった施設を備えるということです。

なお、1階のN e - s t、eスポーツのスタジオなんですけど、これはプロ仕様なんですよ。プロの合宿を実は想定してつくっておりますので、今後、第二弾となる今年度が本番なんですけど、ぜひ地方創生拠点整備交付金の採択を受けて、1階の長井商工会議所部分、これは商工会議所さんとは合意しておりますので、あそこの広大な事務所の部分に、eスポーツであったり、例えば様々な認知症予防とか、あるいは健康づくりのための、そういった機能の施設とかのリノベーションを考えておりまして、さらには気

軽に食事などを楽しんでいただいたり、友達とお茶を楽しむとか、そういうスペースなども含めてタスの建物の全体のうちの、産業振興としての市内の企業向けの機能ももちろんあるわけですが、一般の市民の方が気軽に食事や健康づくりとかですね、あとは趣味などを生かせるような、そういったリノベーションに今年度挑戦してまいりたいと思いますので、その段階でまた性質、性格といいますかね、ホテルの持つ機能が変わってまいりますので、また随時いろいろご指導いただければと思います。

それでは、次の項目ですが、今後のダム観光について、私のほうからは、ダム方面の道路の復旧のめどがあるのかと、秋の紅葉を控え、ダム観光についての考えはということなのですが、議員からもありましたように、私ども、全国では初めて管理ダムとしてオープン化を国のほうにお認めいただいて、以降、3年間、今年で3年目ですね、そのために長井ダムのいろんな施設を、私ども商業利用などに使わせてもらっているわけですが、今回の災害でそのほとんどが、準備、ご配慮いただいたものが残念ながら被災してしまっただと。

したがって、これは国土交通省の施設でありますので、長井市としてはやはり長井ダム管理支所、あるいは最上川ダム統合管理事務所というのがございますけれども、そこを通じて山形河川国道事務所、東北地方整備局、そして国土交通省のほうに要望をしているところでございまして、今後も、私も個人的に長井市としてそういった事務所に出向いて、まず何とか今年度中に復旧していただくように、そうしないと来年の春からの利用が不可能になりますので、そんなことでお願いしてまいる所存でございますので、ぜひ応援いただければと思います。

最後に、3点目のパークゴルフ場のトイレについてでございますが、これは議員からもありましたように、パークゴルフ場におけるトイレ

建設につきましては、平成28年度に指定管理者や利用者からの要望がありまして、設置に向けた準備を進めておりました。しかし、近隣住民の方との説明会の中で、夜間の使用について、あるいは設置場所の選定及び現状等について一部の住民からいろんな意見が出され、再度検討した結果、ちょっと根強い反対があったということで、もう話し合いしても全然がちが明かないという状況でしたので、せっかく議会にお認めいただいて予算をご承認いただいたんですが、常設トイレの設置を断念したという経過がございます。

私、当時は十分な説明、住民の説明会、あるいは周辺の住民の皆様のご理解をいただいた上でなされたものと聞いてたんですが、ちょっとびっくりしました、正直なところ。それを事前に分かれば当然議会のご承認をいただけるような、その前にそこをしっかりと確認してからじゃないと上程すべきじゃなかったんですが、この辺がちょっと不可解で、なぜこうなったのかというのはちょっと分からずに、なおかつ、鈴木議員おっしゃっているのは、あそこの堤内に造るんじゃないかと、外だと思っただとですね。そうしますと、設置する場所がないんですよ。あの近くで市の土地の一番支障のないところをしたわけですが、そこを反対されるとあと造るところがないんですよ。したがって、トイレというのは迷惑施設というふうにもう地元ではお考えになっているようなので、地元というか一部の人でしょうけど。清水町での反対ではないと思っております。

あと、パークゴルフ場については、あそこに造られた経過というのをご存じだと思うんですが、長井市では、財政再建からほかの市町村のようにパークゴルフ場を独自に造るということはおもう難しいということで、当時の県議会議員とパークゴルフの愛好者の皆さんで県のほうに要望して、県のしゅんせつをした土地、いわゆる

る土ですよ、土砂ですよ、それらを埋立てに  
使って河川の公園を整備する、公園というか埋  
立てですよ、それをパークゴルフ場としてうま  
く活用いただいて、パークゴルフができる環境  
をつくってもらったと。それに対して、人工芝、  
芝の植生とかそういったものもご協力いただ  
いたんですが、管理棟については、パークゴルフ  
をなさっている団体が複数あったんですが、一  
本化してまずみんなで協力してそれを運営して  
いこうということで、手作りでしていただいた  
ところなんですよ。ただ、そこが清水町の一部  
の方は快く思っていなかったのかもしれない。  
そんな感じが私はしました。

したがって、根深いものがありますので、こ  
れは私どもとしても、造るのはやぶさかではな  
いのですけども、賛同を得られるかどうか、も  
うトイレが迷惑施設だと言われると、どうしよ  
うもないわけですから、その点もう一度、地元  
とも相談しながら、あるいは、のがわクラブさ  
んのほうとも相談して考えていかなきゃいな  
いと思っております。

○浅野敏明議長 赤間茂樹産業参事。

○赤間茂樹産業参事 タスのさらなる活性化につ  
いての質問項目の中で、県内には同様の施設が  
あるが、タスの魅力、特徴をどう印象づけるか。  
また、市内のほかの施設との区別、連携などを  
見据えてお答え申し上げます。

タスのコワーキングスペースやワーケーショ  
ンルームの施設、あるいはステーションブース  
など、最近はコロナ禍の影響もあり、あちこち  
にできているということをご承知のとおりだと  
思います。その中でも、タスの施設につきまし  
ては、長井市以外のほかの施設に比べてみても、  
環境がすばらしく快適で充実した施設であると  
認識しております。

ほかの市町村にある同様の施設と比べまして、  
タスの施設の特徴は、まず、先ほども市長から  
のお話にもありましたが、ホテルがあるという

ことです。そのほかに、タスの建物内にはプー  
ル、フィットネスフロアがありまして、また9  
階には和洋レストランも備えている。それから、  
大きな会議が開ける施設もあるということで、  
仕事や研修で利用するほかに、滞在しながら余  
暇と仕事を両立できる環境が整っているといっ  
た点が大きな強みでないかなと思います。

また、市内のほかの施設とのすみ分け、連携  
についてですが、市内の宿泊施設でもWi-Fi  
については今は利用できるところがほとんど  
だと思います。ただ、フリーWi-Fiの電波  
を拾いましても、本格的に仕事をするというこ  
とにおいては、専用スペースがないというのが  
ほとんどのところではございまして、タスはこ  
の点では非常に優れた環境を整えていると思  
います。

こうしたことから、例えば数百人規模の大き  
な会議を長井市に招致した場合、市内に分散し  
て宿泊していただくこととなりますけども、会  
議の資料整理など、タスの施設を使っていた  
ら、例えばWi-Fiの環境の整っているほ  
かの宿泊施設と結んで情報のやり取りなども  
できると思いますので、そういった面では、長井  
市全体で受け入れていく提案などは今後連携で  
できればなと思っております。

また、コワーキングスペースですけども、こ  
れは県内には20か所以上あると伺っております。  
どれも利用頻度がなかなか上がらないというの  
が課題と伺っております。タスは、地場産セン  
ターでリニューアルオープンした際に、タスの  
各施設を紹介するテレビCMを行いました。何  
よりもこういう施設があって、このような利用  
ができる場所があるということを知っていただ  
くことが重要です。広報は、その点は大切な手  
段だと考えております。

やまがたアルカディア観光局については、以  
前から県外にも営業に出しておりますけども、最  
近はタスパークホテルの従業員も同行して、タ



スのこのようなワーケーションルーム、コワーキングスペースなども利用ができるという点も含めてホテル利用の営業を行っているということをお伺いしております。

コワーキングスペースを活用する動きにつきましては、県内全体でも利用頻度が少ないことから、新しい動きが出ているようでありまして、新しい働き方コンソーシアム、通称IWAという名称だそうですが、このようなグループ活動ができております。長井市からはコワーキングスペースが参加しておりますけれども、これは、県内11か所のコワーキング施設で連携してセミナーなどを開催して地域住民に参加してもらい、県内、県外の方とつながる機会をつくるという動きだそうです。

もう一つ、置賜地域でもこうしたネットワークをつくろうということで、一つの施設だけではなく、置賜地域として面ではほかの地域と交流する取組を行おうということを行っているということでございます。

また、長井市ではスマートシティの事業も行っておりますので、タスの施設を市民が利用する提案についても、スマートシティのほうでも検討いただくということにしておりますので、利用促進に努めてまいりたいと思います。

2つ目の質問で、長井ダム観光のほうで、8月3日の大雨によるダムの被害状況でございますが、簡単にご説明申し上げます。

まず、8月26日の新聞にも長井ダムの被災状況について掲載されましたけれども、現在、水陸両用バスや遊覧船、SUP、水上自転車で利用させていただいております折草沢、こちらについては、湖面への進入路及び駐車スペース、こちらが大きく崩れ、流されております。土砂もダム湖内に流入しているという状況でございます。

また、三淵溪谷へのゴムボートツアー、それから湖面利用として一般開放している合地沢の

湖面広場でございますが、こちらは若干下に降りていく道路、一部修繕が必要なところがあるみたいですが、道路については大きな損傷はなく、下までは降りていける状況と伺っております。しかし、トイレを設置しております一段高いところの部分については、大きく崩落しておりますので、現在使用不可となっております。

また、21世紀不伐の森でございますが、全体の面的には大きな被害がなかったようでございますが、不伐の森の下を流れている濁沢については物すごい量の土砂がたまっており、こちらの復旧も地元の組合さんたちで行っているという状況です。

また、湖面への流木については、過去最大量となっておりますので、三淵溪谷にもかなり流木が詰まったと伺っておりますけれども、大分今撤去が進んでいるという状況だと聞いております。

以上、主に長井市及び観光局に関連する場所の被害状況でございます。

このほかにも、長井ダムの管理している合好沢、それから堤体下流の老ノ沢の管理用道路などについては、結構大きな被害が出ているということをお報告を受けているところでございます。

**○浅野敏明議長** 菊地千賀商工振興課長。

商工振興課長に申し上げます。残り時間を考慮して答弁をお願いします。

**○菊地千賀商工振興課長** はい、分かりました。

私には2点ご質問いただきました。

まず、1つ目の質問、タスがリニューアルオープンしてから客層など変わったことはあるかについて、お答えいたします。

これまでのタスビルは、市民が足を運ぶ機会が少なく、市外からの来訪者向けのホテルといったイメージがありました。そのため1階ホール内を歩くのは、宿泊客と商工会議所を訪れる事業所さん以外は閑散としており、現在のブックラウンジの場所は、イベントがないと電気が消えていて、何となく暗い印象を持つ建物だっ

たように感じます。しかし、このたびのリノベーションにより、売店と併設になったブックラウンジは、優しい灯りがともり、癒やしの空間に変身しました。

利用状況を拝見しますと、いつも60代から70代の女性客のグループがフリードリンクを飲みながらくつろいでおり、楽しそうに雑談されているということをお伺いしております。

また、ビジネスマンの商談や打合せ、本を手に取り読書をしておられる方もいらっしゃいますし、幅広い世代の待ち合わせ場所に利用されているとのことでした。

1階に整備されたeスポーツや2階のコワーキングスペースがオープンしたことにより、10代から20代の来館者が増加傾向にありまして、ただ、まだまだ知名度が低く、ロコミの効果も踏まえて広く情報を発信していくことが必要と考えております。

2階バンケットホール袖につきましては、仕切れるように改修されているため使い勝手が非常に良く、会議、宴会利用を含めて稼働率が上がっており、来館者からは明るい印象になったというような高い評価を得ております。しかしながら、現在は新型コロナウイルス感染症第七波により宴会のキャンセルが相次ぎ、厳しい状況ではありますが、秋以降のイベントの集客に期待しているところでございます。

一番好評をいただいているのは、朝食の提供時間を早めたということで、朝食をお取りになる方が増えてきております。

前までは仕方なくカレーを選択というような方が多かったようなんですが、今では和食が人気となっております、中でも季節の鍋がとても好調のようです。

また、和食、洋食のレストランが9階にそろったということによって、相乗効果があり、来店客数も増えております。

アンケートのコメントから分かることとしま

しては、白鷹町、飯豊町、米沢市、川西町、南陽市等の市外からの利用者がとても増えているということで、これは新聞、ラジオ、フリーペーパー等の宣伝効果も考えられますが、やはりロコミも影響していると感じております。

続きまして、2問目の(2)のコワーキングスペースやワーケーションルームを利用した人の人数や利用者の反応についてお答えします。

タスビルは4月15日に1階から3階をグランドオープンし、4月は無料券の配布を行い、まずは知名度の向上と誘客に努めたところです。2階のコワーキングスペースの利用実績につきましては、5月が55名、6月が59名、7月が105名、8月が99名と徐々に増えつつあります。

コワーキングスペースにつきましては、市内の方の利用が多く、毎日利用される方もいらっしゃいますし、ビジネスマンや宿泊客の利用も多くなってきております。

また、ワーケーションルームにつきましては、8月に1名の方が3日間ご利用されました。IT関連にお勤めの方で、帰省中のご利用とお聞きしております。

問合せとか見学においでになられる方々の反応はとてもよいのですが、利用結果には至っておらず、今後観光プランとの組合せによる利用や誘客の工夫が必要と考えております。

利用料金につきましては、利用形態に応じて7月に見直しを行い、より利用しやすい価格帯となっております。

議員がおっしゃるとおり、とても静かで環境がよく仕事がしやすいことや、充実したドリンクを常時取りそろえて無料で提供しておりますので、利用者からは大変好評でございます。

○浅野敏明議長 竹田祐子観光交流担当課長。

○竹田祐子観光交流担当課長 私からは、問2、長井ダムの観光についての1つ目の質問にお答えさせていただきます。

今年度、やまがたアルカディア観光局で実施

した長井ダム活用のアクティビティーについてでございますが、水陸両用バスについては、5月26日から開始いたしましたして4,551名のご利用をいただきました。うち市外の利用は3,396名、約75%となっております。SUPにつきましては17名、水上自転車は126名のご利用があり、こちらは全て市外の方のご利用だったとお聞きしました。

ボランティアガイド黒獅子の里案内人の方々には、水陸両用バスの全ての便にご乗車いただき、ご案内をいただいておりますけれども、今年度は延べ118名の方にご協力いただき、大変好評だったとお聞きしております。

○浅野敏明議長 高世 潤健康スポーツ課長。

○高世 潤健康スポーツ課長 私からは、8月3日から4日に発生しました豪雨災害によるパークゴルフ場の被害状況とその後の対応についてお答えいたします。

8月3日午後に当課職員が市内の施設を巡回確認した際は、水位の上昇は確認できるものの、施設への浸水はございませんでした。設置してある3基の仮設トイレにつきましては、これまで同様に暴風雨に耐え得るよう、全て地盤にアンカー処理を施しております。

翌日4日午前8時頃、被害状況を確認のため、市内施設を巡回しました。パークゴルフ場への取付道路が冠水し、仮設トイレ1基の流出を確認したところです。

早急に指定管理事業者と連絡調整をし、安全が確認できるまで施設を休業する旨、確認をしたところです。

流出した仮設トイレにつきましては、その後、施設周辺や流域を探索したものの、発見には至らなかったため、設備借り上げ事業者に連絡し、今後の対応について情報交換を行ったところです。

施設の営業開始につきましては、パークゴルフ場コースへの浸水被害はございませんでした

ので、ただ、再度施設の設備、安全確認をした後、営業を再開することで指定管理事業者と確認したところです。

仮設トイレにつきましては、同様の設備を借り上げ事業者と調整し、営業再開に支障のないよう、対応させていただきました。

○浅野敏明議長 鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 タスにつきましては、市長、参事、課長からそれぞれ説明をいただきました。今まさしくこれからいろんなことをなさるといふことの計画でございますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

一つだけ市長にお聞きしますが、ブックラウンジについてですが、先ほど課長のほうから、すぐく皆さんがくつろいでいて、いろんな方が利用されていて本当にいいことだと思います。ただ、あそこにある売店につきましては、利用させていただいている中で、もうちょっと身近なものがあればいいのかなと私は思うんですが、その点につきまして市長はどのようにお考えですか。

○浅野敏明議長 内谷市長。

○内谷重治市長 議員おっしゃるように、ホテルに宿泊のお客様のちょっとこういうものが欲しいなというのを、いわゆるコンビニの機能を果たすようなものがあればなおいいのだと思いますが、今回は主にお土産ということで、地場産業振興センターのほうでアイテムを提案して、そして今のような形になったと聞いておりますが、ホテル側のほうでもその需要が必要だということであれば対応はできるかと思っておりますので、なお、ホテルと地場産のほうに再度検討するように申しつけておきたいと思っております。

○浅野敏明議長 鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 長井ダム観光につきましては、やはりちょっと難しいかと思いますが、国土交通省のほうと市長が交渉していただいているところで、ぜひ、来春に向けてまずは

道路を確保していただき、私もすごくダムに関しては、本当いろんな方がいらしてるということが先ほどの報告で、市外からのお客様多いという、交流人口増やしているということで大事なことだと思いますので、ぜひ再度しっかりとしていただきたいと思います。

あと、パークゴルフ場につきましては、市長からあったようにちょっとかなり厳しい点もあると思いますが、ぜひ、もし可能であれば進めていただきたいなと思いますけど、何回もしつこいようですが、可能性はあるかどうか市長にお聞きしたいと思います。

○浅野敏明議長 内谷市長。

○内谷重治市長 私は一旦住民の方、賛同得られなくて、堤防の市内側というか、堤内にある市の用地に建てようとしたんですが、なかなか賛同を得られなかったということですから、その方法は無理だと思っています。したがって、あとは県のほうにちょっとご配慮いただいて、もし今回のような災害になりますと無駄にはなりますけど、バイオトイレってありますから、それで、浄化して流すような、薬品処理じゃなくて、自然の発酵する微生物できれいにしたものを流すような、そういうトイレもごございますんで、そういったところでの検討がよろしいのかなど。

ただしお金がかかりまして、単独ですから、1回ああいふうにして十分検討して1,000万円近い予算も認めていただいたわけなのにできなかったというのは本当痛恨ですが、ただ、住民の方から見れば、やはり嫌だという方はもちろんいらっしゃるわけで、それはもうしょうがないと思いますので、なお、今後やっぱりのがわクラブさんなんかとも相談しながら検討しなきゃいけないと思います。

○浅野敏明議長 鈴木富美子議員。

○10番 鈴木富美子議員 無駄は無駄かもしれませんが、ぜひ、お金はかかるかもしれませんが

が、話は進めていけたらいいと思いますので、よろしくお願いします。

私からは以上です。ありがとうございました。

○浅野敏明議長 ここで暫時休憩といたします。再開は午後1時といたします。

午前11時59分 休憩

午後1時00分 再開

○浅野敏明議長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

それでは、市政一般に関する質問を続行いたします。

### 金子豊美議員の質問

○浅野敏明議長 次に、順位3番、議席番号6番、金子豊美議員。

(6番金子豊美議員登壇)

○6番 金子豊美議員 初めに、一昨日の花火大会、あいにく雨が降ったりやんだりする中の開催となりましたが、実行委員はじめ大会関係者や多くのボランティアの方々の協力により、豪雨災害から1か月の短期間で会場整備、開催に向けた準備等を進めていただき、大会の実施に至ったこと、心から感謝を申し上げたいと思います。

会場には多くの市民等が集まり、イベントや出店などで楽しむ姿がありました。新型コロナウイルス感染症第七波がまだ落ち着かない中、多くの市民が伝統文化の一つである花火の美しさと響く音に感動し、市民の心に明るい未来に向け、夢と希望を与えてくれた花火大会になったと思います。難しい状況の中、主催者の花火